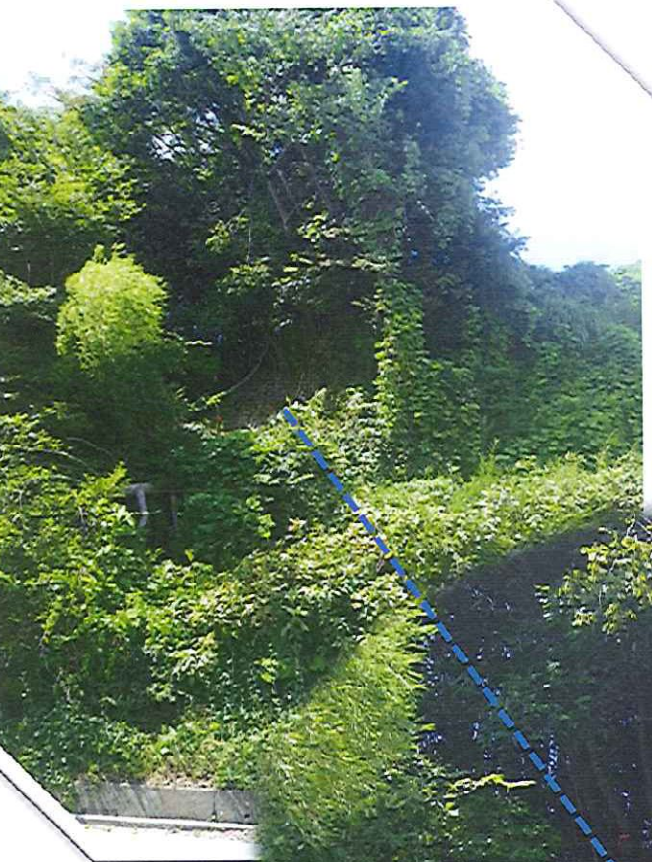


某工場の外周法面復旧工事(茨城県取手市)

H25年3月の
法面復旧工事前状況



H24年8月の状況

平成24年6月の強風でエノキの高木が倒れ、根返りし、砂質土壌の法面が崩れ、二次災害の危険が発生



平成25年4月、法面復旧工事開始
高木伐採及び雑木・草刈り取り



現況地形を残した
法面整形完了



根返りした根の撤去後、人
力による簡易的な整形作業





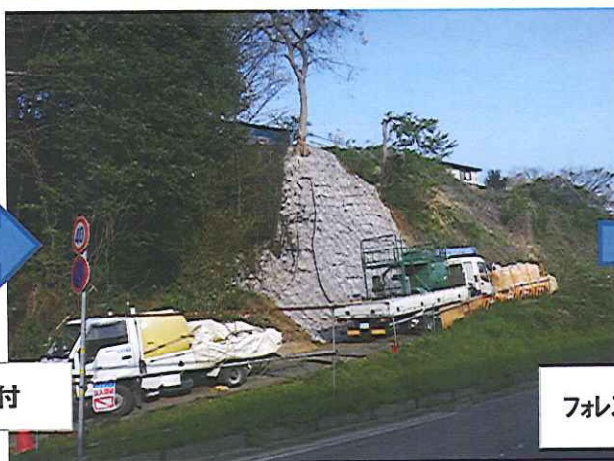
平成25年4月施工
縦通りのアンカーφ400mmを打込み



平成25年4月施工
縦通りアンカーにフォレストマット取付



フォレストマット取付



フォレストマットに客土注入

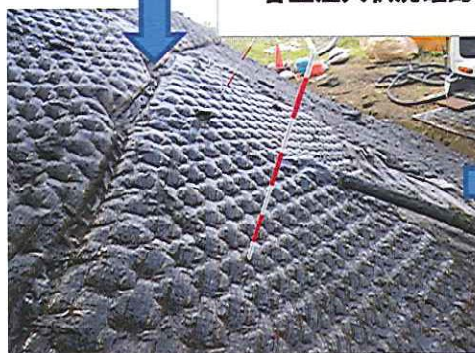




一区画 ヨコ1.8m*タテ0.9
ノズルを挿入



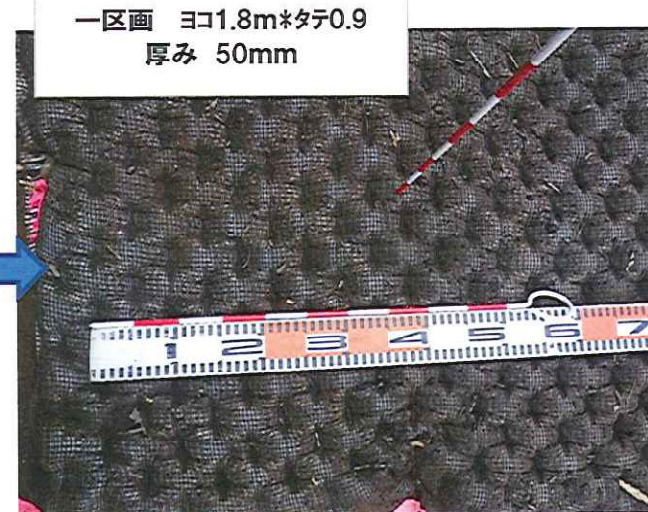
ピンボールで
客土注入状況確認



客土注入完了で
均一な厚みを確保



アンカーφ13mm*L400mm
45cmピッチ
一区画 ヨコ1.8m*タテ0.9



一区画 ヨコ1.8m*タテ0.9
厚み 50mm



2ヶ月後



施工3ヶ月後



木の根元廻りも洋芝に覆われ土の流失もない



1:0.6勾配に急斜面は、水分不足により発芽が進んでいないようである



施工4ヶ月後



H25年8月9日追跡調査



在来種のヨモギ・コマツナギも入れたが法尻部分はヨモギが優先しはじめている



急斜面部に生育し始めたフェスク類も乾燥害を受け始めて



1:0.6以上ある一番急斜面部は、砂質土で基盤が締っていない箇所乾燥で発芽生育が進んでいない。しかし、基盤の崩れは、マットで保護されている